

2019年2月27日

各位

IoT時代を支える最先端材料生産設備を新設

四国化成工業(株)〔本社：香川県丸亀市、社長・C.E.O.：田中直人〕は、ファインケミカル*¹製品の更なる需要拡大に対応するため、徳島工場北島事業所（徳島県板野郡北島町）内に試作から量産まで対応できるマルチプラントを新たに建設し、生産技術力と開発スピードの向上を図ることを決定いたしました。

1. 設備投資の背景

あらゆるモノがインターネットに繋がるIoT時代が到来し、車の自動運転や遠隔医療などの実用化に向けた取り組みが進むなか、多種多様な業界において半導体の需要が高まっています。近年、当社ファインケミカル製品に対し、半導体プロセス材料*²などの高品質で高機能な材料を製造開発するメーカーからのニーズが拡大しております。新たな案件での評価機会も増えており、今後もこの動きが続くことが予想されるため、試作・量産設備の建設を決定いたしました。

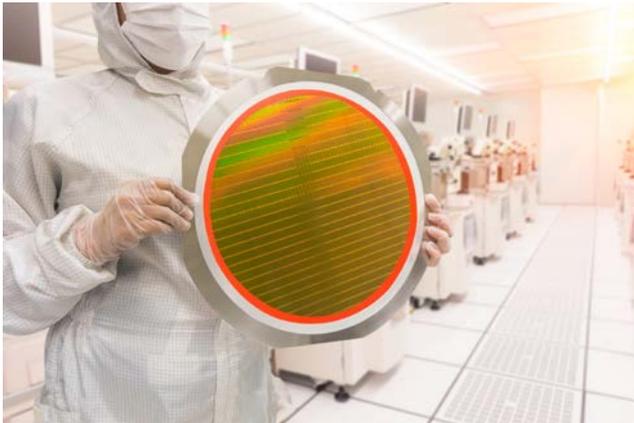
当社では、スマートフォンなどの身近な機器に搭載される電子部品に使用されている、半導体封止材や接着剤の性能を向上させるファインケミカル製品を製造・販売しています。同製品は、小型化・軽量化・薄型化が進む電子機器の高機能化に貢献する樹脂の改質剤としてお客様より高い信頼を得ております。新設備では、今後需要拡大が見込まれる最先端半導体プロセス材料などに向けた新製品を中心に試作・量産を行ないます。同製品はppt(10^{-12})レベルの金属管理などの高い品質管理が求められることから、これに対応した設備を導入することで、お客様のニーズに応えてまいります。

2. 新規生産設備の概要

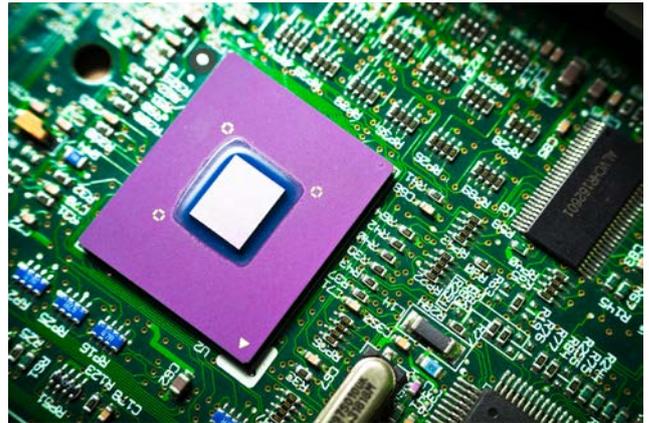
立地：徳島工場北島事業所（徳島県板野郡北島町江尻字内中須1番地）
延床面積：約950㎡（鉄骨ALC 3階建て）
工期：2020年2月着工、2021年7月竣工予定
投資総額：約25億円

同事業所の主力製品は、イソシアヌル酸骨格を有するプール・浄化槽向け殺菌消毒剤や、電子部品に多用されるエポキシ樹脂の硬化剤であるイミダゾール類などです。2010年には高精度の分析技術や管理手法を導入した新しい品質保証棟を、2013年にはパイロットプラントを建設しています。今回の新たな試作・量産設備の建設・活用により、高度な有機合成技術を生かしたファインケミカル製品の更なる強化を進めていきます。

以上



半導体製造クリーンルーム



IC チップ、封止材使用例

- *1 ファインケミカル 厳密な定義はないが、一般的に、大量生産され比較的安価なバルクケミカルに対するものとして、多品種少量生産で付加価値の高い化学製品を指す。
- *2 半導体プロセス材料 半導体製造過程のナノレベル加工に使用される各種プロセス材料。

このリリースに関するお問い合わせは
四国化成工業㈱ 経営企画室 広報チームまで
TEL. 0877-21-4119